

2021年3月31日

長崎県知事 中村法道様

石木川の清流とホテルを守る市民の会
代表世話人 戸田 清、西中須 盈

抗議声明

石木ダム工事の強行と、質問に回答しない県知事に強く抗議します。

私たち「石木川の清流とホテルを守る市民の会」は、昨年5月22日と12月23日の2回にわたり質問状(申し入れ)を中村法道知事に提出した。しかし、知事から当会に全く回答がなかったこと、さらに、地権者等との対話を事実上拒否し続け、工事を強行していることに対して、私たちは強く抗議する。

昨年2回、「知事は民意を真摯に受け止め、工事を中断したうえ、地権者との公開討論会に応じること」「1972年当時の覚書内容を履行すること」の2点について申し入れ(質問)をし、文書で回答要請したが今日に至っても無視し回答はない。こうした態度は県民への非礼であり、石木ダム問題に真摯に向き合うという姿勢がないことを表明している。

付け替え道路工事は、地権者や支援者の抗議行動により、再三延期し現在も完成していない。抗議行動は現地リーダーの指示のもと整然とおこなっているが、県は再三、夜間、早朝の静かな時間帯に、地権者の感情を逆なでするかのような工事を強行している。このような異常な状態を作り出した結果、事実上話し合いを知事自ら拒否したものと受け止める。さらに地元の平穏な生活を奪っていることは、知事に県民の安心、安全を語る資格はない。

多くの県民は石木ダム事業に疑問を持っている。これまでの市民へのアンケートや石木ダムの是非を問うシール投票にも顕著に表れている。県知事は石木ダム事業を見直す勇気をもってほしい。

以上